

主要産地における平成27年産水稻の生育状況等について 第4報 (6月11日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成27年6月12日)

道府県	生育状況等		同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等 (抜粋)
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する進捗等	
北海道	(生育)	<p>(全道) 生育はやや早い(早3日)、移植作業はやや早く終了した(早3日)。(北海道農政部 6月1日現在)</p> <p>(空知) 移植作業は順調に進み、その後の生育も順調である。活着期は5月28日(早3日)。草丈は16.0cmでやや長く、葉数は4.6枚で多く、葉数は10.7本で平年並。(空知総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(石狩) 生育は進んでいる(早4日)。移植後の強風により、返色及び葉先枯れが見られる。草丈は15.4cmで平年並、葉数は4.2枚で多い。(石狩総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(後志) 活着期は5月28日(早3日)で活着の良否はやや良、乾物量は平年並。草丈は16.9cmでやや長く、葉数は4.4枚で多く、葉数は101本で平年並。(後志総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(胆振) 移植後の活着状況は良好。生育は、草丈は13.4cm、葉数は4.1枚、葉数は97.1本で平年並(早2)。(胆振総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(日高) 移植作業は平年並に終了し、生育は平年並に推移している(早2)。草丈は16.6cmでやや長く、葉数は4.4枚でやや多く、葉数は97.0本で平年並。(日高総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(渡島) 移植作業は平年よりやや早く概ね終了し(早3)、生育も平年よりやや早く推移(早4)。草丈は18.7cmで長く、葉数は4.3枚で多く、葉数は106本で平年並。(渡島総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(樺山) 生育は平年並(早4)。草丈は15.0cmで平年並、葉数は4.6枚で平年並、葉数は101.5本でやや多い。(樺山総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(上川) 生育は平年並で推移(早2)。移植作業は平年並からやや早く終了した(早3)。草丈は17.5cmで平年並、葉数は5.6枚で多く、葉数は129本でやや多い。(上川総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(留萌) 一部に強風による植傷が見られたが、移植後の好天により生育は順調である。活着期は5月27日(早2)。草丈は20.6cmで長く、葉数は5.5枚で多く、葉数は112.2本で多い(早4)。(留萌振興局 6月1日現在)</p> <p>(オホーツク) 生育はやや進んでいる。活着期は6月1日(早3)。草丈は16.0cmで平年並、葉数は3.9枚で平年並、葉数は98.0本で平年並。(オホーツク総合振興局 6月1日現在)</p> <p>道南農業試験場圃場での、きらら397、ふっくりんこ、なつぼしの生育は「やや良」(5月20日現在)(道南農業試験場)</p>	<p>6月のヒメトビウカの発生量は多く、イネドロオウムシの発生期は平年並で発生量はやや少く、フタオビコヤガの発生期はやや早く、発生量はやや少ないと予報。(北海道病害虫防除所 5月28日公表)</p>
青森	(生育)	<p>6月5日現在の田植進捗より状況は、県全体で100%となり、県全体の田植終わりは5月26日で、平年より2日早かった。(青森県 6月8日付)</p> <p>生育状況(6月10日現在)</p> <p>(黒石) 6月1日から6月9日までの平均気温は、平年に比べ0.7℃高く、日照時間は平年比111%と多かった。「つがるロマン」は、草丈は30.6cmで平年より0.5cm長く、株当たり葉数は11.2本で平年より4.1本多く、葉齢は6.3葉で平年より0.5葉多かった。「青天の霹靂」は、「つがるロマン」と比べ、草丈が3.1cm長く、葉数は3.2本少なく、葉齢は0.7葉少なかった。</p> <p>(十和田) 6月1日から6月9日までの平均気温は、平年に比べ1.2℃高く、日照時間は平年比122%と多かった。「つがる」は、草丈は36.6cmで平年より1.2cm長く、株当たり葉数は8.6本で平年より0.5本多く、葉齢は6.4葉で平年より0.4葉多かった。(青森県産業技術センター農林総合研究所 6月11日付)</p>	<p>6月のイネミズゾウムシは、県内全域で発生時期は早く発生量はやや少ない、イネドロオウムシは、県内全域で発生時期は早く発生量は平年並みの予報。(青森県病害虫防除所 5月29日公表)</p>
岩手	(生育)	<p>6月5日現在の生育は、農業研究センター(北上)、県北農業研究所(軽米)とも初期生育は良好。農業研究センター(北上)では、6月5日現在の葉数は平年を下回っているが、草丈、葉齢とも平年を上回っている。県北農業研究所(軽米)では、6月5日現在、草丈、葉数、葉齢とも平年を上回っている。(岩手県農業研究センター 6月8日付)</p>	<p>6月のいもち病の発生はやや多く、イネミズゾウムシの本田侵入盛期は早く発生量は少く、イネドロオウムシの産卵盛期は早く発生量は少の予報。アカスジカスカメのふ化盛期がかなり早まっている。(岩手県病害虫防除所 5月29日公表)</p>
宮城	(生育)	<p>6月10日現在の生育は概ね順調であり、葉数(平年差+0.3枚)から見ると平年に比べて2~3日程度進んでいると思われる。県全体の平均は、草丈は27.8cm(平年比101%)、1㎡当たりの葉数は224本(平年比116%)、葉緑素計(GM)値は37.7(平年差-0.1)であった。(宮城県 6月11日付)</p> <p>(大河原) 田植作業は例年より早いペースで進んだ。6月1日の管内の生育調査では、草丈はやや長く、葉数:多め、葉数(生育の早晚)はやや早いとなっている。苗の活着も良く、生育は順調。(大河原農業改良普及センター 6月5日付)</p> <p>(仙台) 6月1日現在の調査結果は、生育調査「ひとめぼれ」、「ササニシキ」とも、草丈、葉数、葉齢において平年並からやや上回る生育状況だった。(仙台農業改良普及センター 6月3日付)</p> <p>(石巻) 田植後の生育は良好。6月1日の調査では、葉数は平年並より多く、葉数は多い傾向。但しササニシキ(雄生町)の葉数は、播種日が平年より10日遅かったことから、平年より0.6枚少なかった。(石巻農業改良普及センター 6月5日付)</p> <p>(本吉) 田植盛期は平年より1日遅い5月16日で、生育は順調に経過。6月1日現在の調査では、生育は、葉数は平年を1枚以上進んでおり、平年より7~10日ほど進んでいる。南三陸町ササニシキでは、草丈は平年より長く、葉数も平年比134%と多い。管内全体も、生育は順調で、平年より進んでいる。(本吉農業改良普及センター 6月4日付)</p> <p>(栗原) 6月1日現在、草丈は25.2cmで、平年より長い(平年比113%)、葉数は112.3本/㎡で平年より多い(平年比119%)、葉数は6.1枚で平年より多い(平年差+1.0枚)。生育は平年より進んでおり、草丈、葉数、葉数ともに平年を上回った。(栗原農業改良普及センター 6月3日付)</p> <p>(登米) 6月1日現在の生育は草丈は長く、葉数は少なめだが葉数が例年より進んでおり、平年に比べて生育は7~10日程度早まっている。田植開始以降も好天に恵まれ、活着も順調で、活着の良好だったほ場では分けつも進んでいる。(登米農業改良普及センター 6月2日付)</p> <p>(大崎) 田植後の気候が高温で経過し、苗の活着は良好。6月1日の調査では、平田地域、丘陵地域、山間高冷地域で概ね草丈葉数が平年をやや上回り順調に生育している。(大崎農業改良普及センター 6月2日付)</p> <p>(美里) 育苗→田植早期間が良好な天候で経過したため、田植作業は順調に進み、管内の田植え始め、盛期、終期は、平年より2日早くなった。草丈、葉数、葉数ともに平年を上回る生育となっている。直播栽培は順調に出芽が揃っており、3か所の調査ほ場において、6月1日現在、イネの生育ステージは出芽揃い期~約1.5葉となっている。(美里農業改良普及センター 6月2日付)</p>	<p>5月末~6月初めのイネミズゾウムシの発生時期はやや早く発生量はやや多い見込み。5月末~6月初めのイネドロオウムシの発生時期はやや早く発生量はやや多い見込み。(宮城県病害虫防除所 5月22日公表)</p>
秋田	(生育)	<p>(鹿角) 水稻移植作業は5月26日に終期を迎えた。定点あきたこまちの葉齢は5~6葉期になっている。(6月5日付)</p> <p>(北秋田) 6月5日現在の田植えの進捗率は100%。田植え後の初期生育は概ね良好。(6月5日付)</p> <p>(秋田) 水稻の田植えはほぼ終了した。移植及び直播とも、初期生育は良好。(6月5日付)</p> <p>(由利) 田植え作業は管内全域でほぼ終了し、畦畔の草刈り作業が始まっている。(6月8日付)</p> <p>(仙北) 田植作業は5月25日現在で79.7%(平年69.4%)の進捗となっており、終期は今週末となる見込み。直播栽培の播種作業は5月21日に終期を迎えている。(5月29日付)</p> <p>(平鹿) 5月30日現在の移植作業の進捗率は99.0%です。移植作業の終期(進捗率95%)は5月27日で、平年より3日早く進んでいます。全体的に移植後の苗の活着は良好。(6月5日付)</p> <p>(雄勝) 田植え作業の終期は、5月30日で平年より1日早くなった。(6月5日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>	<p>6月の葉いもちの発生量はやや少ない、ばか苗病の発生量は多い、イネミズゾウムシの発生時期は早く発生量は平年並、イネドロオウムシの発生量は少ない、イネミギワバエの発生量は多い、ニカメイガの発生量は少ない、斑点カメムシ類は発生時期が早く発生量は多い、フタオビコヤガの発生量はやや少ないと予報。(秋田県病害虫防除所 5月28日公表)</p> <p>注意報 5月19日の調査の結果、イネミギワバエの発生量が全県で多いと予報。(秋田県病害虫防除所 5月21日公表)</p>
山形	(生育)	<p>6月10日現在、草丈は並み、葉数・葉数は多く、生育は2日早い。平田部「はえぬき」の生育は、草丈は平年並みで、葉数・葉数は多く、葉色は平年並みで順調な生育となっている。直播栽培は苗立ちが良好。「つや姫」は、適正な時期に移植され、その後の好天に恵まれたこと等により、初期生育量が確保され順調な生育となっている。(オールやまがた米づくり日本一運動、県産米ブランド推進課 6月10日付)</p> <p>(東南村山) 6月10日現在の草丈は長く、葉数、葉数はほぼ平年並となっている。移植時期によって生育(特に葉数)に大きな差が見られる。(村山農業技術普及課 6月11日付)</p> <p>(東南村山) 6月10日現在のつや姫は、移植時期により生育に大きな差が見られる。(村山総合支庁 6月11日付)</p> <p>(最上) 移植作業は、始期が5月17日、盛期が23日、終期が30日(見込み)と、ほぼ平年並みの進捗状況となっている。(最上総合支庁 5月28日付)</p> <p>(庄内) 「つや姫」の生育は概ね順調で、分けつ発生も始まっている。6月1日生育調査の結果は、草丈は長く、葉数、葉数はほ場による差が大きい状況。(庄内総合支庁農業技術普及課 6月3日付)</p> <p>(北村山) 田植後、高温・多雨で経過し、降雨がほとんどなく、土壌のワキ(還元)や表層剥離が発生し、一部で生育停滞や葉色の低下が見られる。例年以上に田んぼの生育に「ほらつき」が多く注意が必要と指導。(村山総合支庁農業技術普及課 6月4日付)</p> <p>(酒田) 6月1日現在の生育は、5月10日をピークとして移植が行われ(平年より3日早い)、活着は良好。地帯や移植時期などによる差はあるが、全般には順調なスタート。湛水直播栽培の苗立ちは良好。乾田V湛水直播栽培は4月中に播種作業が完了し、出芽・苗立ちは良好。葉齢で1.5~2.0葉程度となっている。(酒田農業技術普及課 6月2日付)</p> <p>(南村山) 適期出穂を確保するため、つや姫の移植は5月20日までと指導(山形の米日本一推進運動村山地域本部 4月30日付)</p> <p>(置賜) 高温により苗の生育が進み、徒長苗となっている。耕起が早かったほ場では乾土効果が期待される。田植えの適期は5月10日~20日頃。つや姫の田植え時期の目標は5月20日まで(置賜総合支庁 5月11日付)</p>	<p>6月の葉いもちの発生時期及び発生量は平年並、斑点カメムシ類の発生量はやや多い、フタオビコヤガ(第1世代)の発生時期は早く、発生量は平年並の予報。(山形県病害虫防除所 5月27日公表)</p>

生育状況等		
福 島	<p>・ 田植え作業は、始期（5%終了）、盛期（50%終了）が平年より1日早く、それぞれ5月8日、5月15日で、終期（95%終了）は平年並の5月25日となった。活着は概ね良好で、本田での初期生育は、分けつ後の発生が平年並から多く、主穂出葉が平年より早まっている。直播栽培は、4月下旬から種播作業が始まり、5月下旬でほぼ終了した。出芽と苗立ちは良好。（福島県農林水産部 6月3日付）</p> <p>（生育） （会津・喜多方）天候にも恵まれたため、田植作業は平年より早かった。軟弱苗や高温により、植え痛みや葉先枯れなどの除草剤による被害が発生したほ場が散見されたが、その後、回復している。（福島県喜多方農業普及所ほか 6月5日公表）</p>	<p>・ 6月のいもち病の発生量は平年並、イネドコロイムシとイネミズゾウムシの発生時期は早く発生量はやや少ない、イネヒメモグリバエの発生量はやや少ない予報。（福島県病害虫防除所 5月29日公表）</p>
茨 城	<p>（水戸市） 6月1日現在、5月1日に移植した「あきたこまち」及び「コシヒカリ」の生育は、平年より6日程度進んでいる。平年に比べ、草丈は「あきたこまち」で並、「コシヒカリ」でやや長く、莖数は高品種ともに多く、葉色は高品種ともに並。5月11日に移植した「コシヒカリ」の生育は、平年より5日程度進んでいる。平年に比べ、草丈は並、葉数は多く、葉色は並。（6月3日付）</p> <p>（龍ヶ崎市） 5月28日現在、4月27日に移植した「あきたこまち」及び「コシヒカリ」の生育は1日早い。高品種の草丈は長い～極く長く、莖数は極く多い。葉色は「あきたこまち」がやや淡く、「コシヒカリ」が並。5月7日に移植した「あきたこまち」及び「コシヒカリ」の生育は平年より2～3日早い。高品種の草丈は平年並、莖数は並～やや多い。葉色は「あきたこまち」が並、「コシヒカリ」がやや淡い。（6月1日付） （茨城県農業総合センター農業研究所）</p>	<p>・ 6月の綿葉枯病（ヒメトビウカ）の発生時期は早く、発生量は多く、発生地域は県西地域と県南の一部地域と予報。ニカメイガの発生時期はやや早い～早く、発生量は平年並～やや多い、発生地域は県下全域と予報（茨城県病害虫防除所 6月1日公表）</p>
栃 木	<p>（下部賀） 気温が高く推移したため、葉齢+1.2と生育が進んでいる。5月3日植えコシヒカリの草丈は平年比96%、莖数は123%（6月4日付） （下部賀農業振興事務所）</p>	<p>・ 注意報 イネ綿葉枯病の発生量が県中南部地域で多いと予報。（栃木県農業環境指導センター 6月3日公表）</p>
埼 玉	<p>（加須） 早期栽培コシヒカリ産地の加須市北川辺地区では、4月11日から始まった田植えが、4月18日から本格的になっている。田植えは例年4月末には終わる予定。育苗中の天候が悪く、気温は低く推移したが、適切な保温管理が行われた結果、良質な苗が準備できている（加須農林振興センター 4月27日付）</p>	<p>・ 6月のいもち病の発生量は少、イネドコロイムシの本田での発生量は平年より多、ヒメトビウカの第1世代幼虫の発生量は平年並と予報。綿葉枯病の発生量は多いと予報（埼玉県病害虫防除所 5月28日公表）</p>
千 葉	<p>・ 4月中旬以降気温は高く推移し、6月1日現在、葉令は過去に例のない早さで進んでいる。特に、4月20日頃から5月1日頃までに移植したほ場は、莖数が多くなっている。5月10日頃に移植したほ場では、台風による強風の影響から一時的な生育停滞が見られたが、生育は回復傾向。莖数過剰が懸念される生育となっている。4月20日植えの「ふさおとめ」や「ふさこがね」の生育は、平年より5～7日早く、「ふさおとめ」は6月10日頃、「ふさこがね」は6月13日頃から幼穂形成期となる見込み。（千葉県農林水産部 6月3日付）</p>	<p>・ 向こう1か月間の発生量は、いもち病は平年並、紋枯病はやや多、イネドコロイムシは平年並、イネクロカメシタ多、ヒメトビウカは多、セジロウカは平年並、コバネイナゴは多の予報（千葉県農林総合研究センター 6月10日公表）</p>
新 潟	<p>・ 6月10日現在の生育状況は、平野部・山間とも生育が進んでおり、特に、連休田植えのほ場は生育量が大きくなっている。コシヒカリ・こしいぶきとも、県平均では指標値に比べ、草丈は「並み」、莖数は「多い」、葉色は「並み」、葉数の進みは「早い」状況。（新潟県農林水産部 6月11日付）</p> <p>（岩 船）6月10日現在、草丈は並～やや長く、莖数は並～やや多、葉数は早く、葉色は淡い。田植時期が遅いほ場や強風の影響が大きかったほ場では、生育量が不足している。生育が順調な多くのほ場で、中干し時期に達している。（村上農業普及指導センター 6月10日現在）</p> <p>（三 条）6月10日現在、コシヒカリは、草丈31cm（指標値比103%）、莖数245本（指標値比94%）、葉数7.2枚（指標値比+0.2）、葉色37.9（指標値比-0.1）、こしいぶきは、草丈28cm（指標値比100%）、莖数303本（指標値比95%）、葉数7.7枚（指標値比+0.2）、葉色43.3（指標値比+3.3）。（三条農業普及指導センター 6月10日付）</p> <p>（柏 崎）6月10日現在、平地地コシヒカリは指標値と比べて、草丈・並、莖数・多、葉色・並、中山間地コシヒカリも、莖数が順調に増加、こしいぶきも莖数が多く、過剰生育傾向。（柏崎農業普及指導センター 6月11日付）</p> <p>（新発田）6月10日現在、生育は平年と比べ3日程度遅い。草丈は長めのイネ並となっている。生育調査地の莖数状況から、5月10日植えコシヒカリの年中干し時期は6月13日頃となる見込み。草丈は指標比116%（多い）、葉数は指標比115%（平年並～やや多）、葉数は指標比+1.0葉（多い）、葉色は指標比+1.8（平年並～やや遅）（新発田農業普及指導センター 6月10日付）</p> <p>（新 潟） 気象が多照で推移したことにより、莖数が目標以上に増加し、6月10日現在、コシヒカリ、こしいぶきとも、莖数は「多」となった。生育状況は目標に比べ、コシヒカリは草丈「並」、莖数「多」、葉齢「並」、葉色「並」、こしいぶきは、草丈「やや長」、莖数「多」、葉齢「並」、葉色「やや遅」。（新潟県農業普及指導センター 6月10日付）</p> <p>（長 岡） 高温・多日照により、葉齢は早めに進み、莖数も急激に多くなっている。6月10日現在、指標値に対し「草丈は平年並、莖数はやや多、葉数は多い、葉色は平年並」となっている。（長岡農業普及指導センター 6月10日付）</p> <p>（魚 沼） 移植後の好天により、初期生育は順調。（JA北魚沼・魚沼農業普及指導センター 6月10日付）</p> <p>（南魚沼）6月10日現在の生育状況は、草丈「やや長」、莖数「多」、葉数「やや多」、葉色「平年並」、葉数の進みが早く、分けつ発生が旺盛になっている。（南魚沼農業普及指導センター 6月10日付）</p> <p>（新 津） 5月28日現在、生育はやや早く、莖数はコシヒカリで平年並程度、こしいぶきでやや多い。（新津農業普及指導センター 5月29日付）</p> <p>（巻） 5月28日現在の生育は、草丈は全般に指標比「平年並～やや長い」、莖数は田植え後の好天で活着は良好。一部は増え2号分けつが発生が見られ、莖数は指標比「平年並～やや多」。葉数は指標比「平年並～やや早い」（巻農業普及指導センター 5月28日付）</p> <p>（巻） 田植後、5月全般は好天となり、活着はおおむね順調。5月28日現在のコシヒカリの莖数は目標値平年並～やや多い状況。（越のかがやき米改良協会 5月28日付）</p> <p>（上 越） 初期生育は、5月が好天に恵まれたことから植え傷みは少なく良好。5/28現在のコシヒカリ生育は、草丈：並（96%）莖数：並（98%）、葉数：多い（+0.7葉）。こしいぶきの生育は、コシヒカリと同様に、順調に進んでいる。（上越農業普及指導センター 5月28日付）</p> <p>（糸魚川） 5月28日現在、平年と比べて生育が早く、草丈・莖数・葉数の値は平年値より大きくなっている。田植日が早いほ場ほど、その傾向は強く見られる。コシヒカリの草丈は平年比113～114%、莖数は116%、こしいぶきの草丈は平年比109%、莖数は130%。（糸魚川農業普及指導センター 5月29日付）</p>	<p>・ 6月の葉いもちの発生量は平年並、発生時期は平年並～やや遅い、ニカメイチュウの発生量は平年並、発生時期は早い、ツマグロヨコバイの発生量は平年並、イネドコロイムシの発生量は平年並で時期は平年並、イネミズゾウムシの発生量は平年並、発生時期はやや早い予報（新潟県病害虫防除所 5月29日公表）</p>
富 山	<p>・ 生育観測データ（6月9日現在） （コシヒカリ）平年と比べて葉齢がやや進んでおり、草丈はやや長く、莖数は多くなっている。葉色は、平年よりやや淡くなっている。 （てんたかく）平年と比べて、葉齢が進んでおり、草丈は長く、莖数はかなり多くなっている。 （てんこもり）平年と比べて、葉齢がやや進んでいるが、草丈、莖数は平年並みとなっている。 （富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月9日付）</p> <p>（生育） ・ 直播情報（6月8日現在） ・ 湛水田直播栽培（カルパ）の生育は、草丈は26.9cm、莖数は349本/㎡、葉齢は6.5、葉色は4.2であった。平年に比べて、草丈は長く、莖数はかなり多く、葉齢はかなり進んでいる。葉齢を揃えて比較しても、莖数は平年よりかなり多めとなっている。湛水表面直播栽培（鉄）の生育は、草丈は24.4cm、莖数は251本/㎡、葉齢は6.4、葉色は4.2であった。昨年と比べて葉齢は同程度であるものの、莖数は多くなっている。 ・ 乾田V直播栽培の生育は、草丈は24.6cm、莖数は330本/㎡、葉齢は5.1、葉色は4.2であった。近年に比べて葉齢が進んでおり、草丈は長く、莖数はかなり多くなっている。 （富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月8日付）</p>	<p>・ 6月の葉いもちの発生量は平年並～少なく、発生時期は平年並、紋枯病の発生量は多く発生時期は平年並、アカヒゲホソミドリカシマカの発生量は平年並～やや多い、アサジガカシマカの発生量は多い、ニカメイガの発生量は平年並で発生時期はやや早い、イネミズゾウムシの発生量はやや多いと予報。（富山県農林水産総合技術センター 6月1日公表）</p>
石 川	<p>・ 莖数は、コシヒカリが加賀地域で平年比88～114%（平均101%）、能登地域で平年比92～148%（平均109%）と、加賀地域、能登地域とも平年並。ゆめみづほは、加賀地域、能登地域とも多くなっている（近年比：加賀121%、能登116%）。葉齢は、コシヒカリが加賀地域で+0.2葉、能登地域で+0.3葉、ゆめみづほが加賀地域で+0.4葉、能登地域は+0.5葉となっており、葉齢開花からみた生育の遅さは、コシヒカリで平年に比べて1～2日早く、ゆめみづほで近年に比べて2～3日早い。草丈は、コシヒカリが平年比96～122%（平均103%）と平年並、ゆめみづほは近年比102～120%（平均110%）と長い。葉色（葉色版値）の発現は、コシヒカリが4.4（平年比96%）と平年よりやや淡く、ゆめみづほで4.7（近年比98%）と概ね近年並となっている。（石川県農林総合研究センター 6月9日調査）</p>	<p>・ 6月の葉いもちの発生量は並、イネドコロイムシ幼虫の発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生量は平年並、イネヒメモグリバエの発生量は平年並と予報（石川県農林総合研究センター 5月28日公表）</p>
福 井	<p>・ 6月4日の水稲調査の結果は、連休に移植、播種した直播圃場では生育がやや早く、分けつ確保も良好。移植コシヒカリは平年並みの生育。直播圃場で草丈が長い。ハナエチゼンは生育が4日程度早く、分けつも多い。 ・ 草丈が長く草型が悪い圃場や下葉が枯れている圃場が散見される。（水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月5日付）</p>	<p>・ 6月の葉いもちの発生量は平年より少なく前年並、紋枯病の発生量は平年並で前年より多い、ニカメイガの発生量は平年より少なく前年並、イネミズゾウムシの発生量は平年より少なく前年より多い、イネドコロイムシの発生量は平年より少なく前年並、イネヒメモグリバエの発生量は平年より少なく前年並の予報（福井県農業試験場 5月28日公表）</p>
長 野	<p>（生育） ・ 活着は順調。（松本農業改良普及センター 平成27年作物技術普及情報第7号）</p>	<p>・ 5月中旬～6月中旬のニカメイチュウの発生量はやや少、ツマグロヨコバイの発生量は平年並、イネドコロイムシの発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生量は平年並～やや少で発生時期はやや早～早いと予報（長野県病害虫防除所 5月15日公表）</p>

生育状況等	
滋賀	<p>・4月下旬～5月の高温・多日照により、生育は早く、分けつは旺盛となっている。すでに中干し適期となっているほ場も見られる。草丈は、「コシヒカリ」が年よりやや長く、「秋の詩」が年並、茎数は「コシヒカリ」、「秋の詩」とも年よりかなり多い（年並の約2倍）</p> <p>(生育) (みずかがみ)</p> <p>・4月下旬から5月上旬移植の生育は、過去4年の平均と比べて5日程度早く、すでに中干し時期。早ければ6月20日過ぎに幼穂形成期を迎える見込み。</p> <p>・5月中旬移植は、分けつ最盛期。 (滋賀県農業技術振興センター 6月5日付)</p>
兵庫	<p>・5月26日現在、県北は本田での生育は順調、県南では苗の生育が順調。 (兵庫県農政環境部 5月28日付)</p>
岡山	
広島	
山口	<p>・全体に移植後の活着は良好で、5月上旬までの移植では、分けつの発生は順調。育苗中に立枯れ症状が見られた場合や、高温で苗が徒長気味の場合では、一時的な葉の黄化など、活着に時間がかかった田も見受けられた。 (長門県農事務所農業部、JA長門大津、6月1日付)</p>
愛媛	<p>・6月は普通期水稲の田植え時期。高温・多日照を回避するための平地地における移植適期は、ヒノヒカリが6月中下旬、にこまるは6月中旬。(愛媛県農林水産研究所 6月3日公表)</p>
高知	<p>・<u>早期水稲の生育状況(5月29日時点)</u> (南国そだち) 4月6日植えでは、草丈は年より長く、茎数がやや少なく、葉齢(以下生育進捗)は年並み。幼穂形成期は5月26日で、年より3日早くなった。 (コシヒカリ) 4月6日植えでは、草丈は年より長く、茎数がやや少なく、生育進捗はやや遅れている。4月14日植えでは、草丈は年より長く、茎数がやや少なく、生育進捗はやや遅れている。 (高知県農業技術センター)</p> <p>・播多管内の5月の早期稲(コシヒカリ)は最高分けつ期から分けつ終期となっている。4月下旬以降、気温・日照時間も年よりやや高めに推移している、若干遅れ気味であった生育も年並みとなっている。普通期稲は、主力となるヒノヒカリの田植えが始まった。苗の生育は概ね順調であった。 (播多農業振興センター農業改良普及課 5月28日付)</p>
福岡	<p>・早期水稲(コシヒカリ、夢つくし)の田植えは年並で、5月11日までにほぼ終了している。初期生育は順調だが、一部スクミリンゴガイによる被害が発生している</p> <p>(生育) ・普通期水稲は6月上旬植えの育苗作業が行われ、生育は順調。高温対策のため、田植えは「夢つくし」を6月上旬、「元気つくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬を中心に行われる予定。 (福岡県農林業総合試験場 5月15日付)</p>
熊本	
宮崎	<p>・5月中旬の早期水稲の生育ステージは分けつ期。生育は春先の高温の影響で年より3日程度早い。 (宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 6月3日付)</p> <p>(生育) ・平成27年産早期米生育状況(4月下旬)</p> <p>早期米の生育状況は、活着期～分けつ期を迎えている。育苗については2月上旬は年より比べ気温が低く推移し、発芽等心配されたが、2月下旬より気温がやや高く推移したため、播種最盛期は年並みに回復し、しっかりとした健苗の育成ができた。田植えについては、宮崎県では3月25日に最盛期を迎えた。3月下旬は気温も高くなり、安定した好天に恵まれ、田植えは年並みの時期に行われた。田植え後の4月上旬は、天候が悪く、やや軟弱徒長気味の生育のものもあったが、強風等の被害はなく、概ね順調に生育している。葉齢は年並み、草丈は年より長く、茎数は年より多くなっており、生育は年並みからやや早い状況。(5月12日付)</p> <p>・早期水稲 4月20日現在の生育ステージ(県全体) 活着期～分けつ前期。年よりやや早い進捗。4月上旬の日照不足により、やや軟弱徒長気味の生育となっているものが一部見られたものの、強風等の被害はなく概ね順調に生育している。 (中部地区) 活着期～分けつ前期。年より1日早い進捗。育苗期間中は、2月上旬気温が低い日が続き発芽等心配されたが、2月下旬はやや気温が高く推移し、健苗が育成された。移植後は、日照不足の影響により、一部でやや軟弱徒長気味となっているが、概ね順調に生育している。4月14日の調査では、草丈は年より高く、茎数も年よりやや多く、葉齢は年より0.2葉程度進んでいる。 (南那珂地区) 分けつ前期で、年より3日早い進捗。移植後の天候に恵まれ、活着は順調。4月上旬の高温・寡照で一部、軟弱徒長気味の生育となっている。気温が高かったことで、概ね順調に生育している。葉齢は年より1.3葉程度進んでいる。 (児湯地区) 活着期～分けつ前期で、年より1日早い進捗。移植最盛期はほぼ年並みの3月27日。4月上旬の日照量が少なく一部で軟弱徒長気味ではあるが、年より気温が高く、生育はやや進んでいる状況。 (東臼杵南部地区) 活着期で、年並みの進捗。田植え最盛期は年並みの4月5日。4月上旬の日照量が少なく一部で軟弱徒長気味だが、年より気温が高く、生育は順調に進んでいる状況。 (JA宮崎経済連ホームページ「宮崎県早期米産地情報」5月12日付)</p>
鹿児島	<p>・早期水稲の斑点米カメムシ類の発生量は年並の予報 (鹿児島県病害虫防除所 6月4日公表)</p>

注1：地方自治体及び出先機関並びにJA等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：生産数量目標、収穫量、作況については、農林水産省の公表資料から採録。

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	生産数量目標					収穫量（主食用） 26年産	作況指数 26年産
		生産数量目標			自主的取組参考値（深堀）	↑		
		平成27年産	前年産との比較	増減率				
		↑	↑	%		↑		
全 国	<p>・6月13日～7月12日の1か月間は、北・東日本、西日本日本海側では、前線の影響を受けにくく、降水量は平年並か少ない見込み。北・東・西日本日本海側では、前線の影響を受けにくく、日照時間は平年並か多い見込み。北日本太平洋側では、日照時間は平年並か少ない見込み。（気象庁 6月11日発表）</p> <p>（6～8月の3か月間の見通し）</p> <p>・6月は、北日本の天気は数日の周期で変わる見込み。東日本太平洋側と西日本では平年に比べ曇りや雨の日が少なく、東日本日本海側の期間の後半は平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込み。</p> <p>・7月は、北日本、東・西日本では平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。</p> <p>・8月は、北日本、東・西日本日本海側では平年に比べ曇れの日が少ない見込み。</p> <p>・東・西日本太平洋側では平年と同様に曇れの日が多い見込み。（気象庁 5月25日発表）</p> <p>・エルニーニョ現象が続いており、強まりつつある。今後、冬にかけてエルニーニョ現象が続く可能性が高い。（気象庁 6月10日公表）</p>	7,510,000	▲ 140,000	▲ 1.8	7,390,000	7,882,000	101	
北 海 道	<p>・北海道地方の6月13日～7月12日の1か月間は、2週目の気温が平年並か低く、平均気温はほぼ平年並の見込み。日照時間は、日本海側では平年並か多く、オホーツク海側と太平洋側では平年並か少ない見込み。降水量は、平年並か少ない見込み。（札幌管区気象台 6月11日発表）</p>	547,330	▲ 6,810	▲ 1.2	538,580	597,200	107	
青 森	<p>・東北地方の6月13日～7月12日の1か月間の平均気温はほぼ平年並、降水量は平年並か少なく、日照時間は、東北日本海側では平年並か多く、東北太平洋側では平年並か少ない見込み。（仙台管区気象台 6月11日発表）</p>	242,460	▲ 4,540	▲ 1.8	238,580	257,400	104	
岩 手	同上（仙台管区気象台 6月11日発表）	271,210	▲ 4,330	▲ 1.6	266,880	287,700	105	
宮 城	同上（仙台管区気象台 6月11日発表）	348,620	▲ 14,010	▲ 3.9	343,050	379,600	105	
秋 田	同上（仙台管区気象台 6月11日発表）	417,540	▲ 15,500	▲ 3.6	410,860	453,000	104	
山 形	同上（仙台管区気象台 6月11日発表）	344,500	▲ 14,070	▲ 3.9	338,990	380,700	105	
福 島	同上（仙台管区気象台 6月11日発表）	339,550	▲ 8,870	▲ 2.5	334,130	350,600	104	
茨 城	<p>・関東甲信地方の6月13日～7月12日の1か月間は、気温は1週目が平年並か高く、2週目は平年並か低く、平均気温はほぼ平年並となる見込み。降水量は平年並か少なく、日照時間はほぼ平年並の見込み。（気象庁 6月11日発表）</p>	337,370	▲ 4,180	▲ 1.2	331,980	396,200	105	
栃 木	同上（気象庁 6月11日発表）	298,690	▲ 10,640	▲ 3.4	293,920	313,700	100	
埼 玉	同上（気象庁 6月11日発表）	151,270	▲ 1,410	▲ 0.9	148,850	169,800	102	
千 葉	同上（気象庁 6月11日発表）	246,490	▲ 2,790	▲ 1.1	242,550	325,300	104	
新 潟	<p>・北陸地方の6月13日～7月12日の1か月間の平均気温はほぼ平年並、降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多い見込み。（新潟地方気象台 6月11日発表）</p>	521,290	▲ 14,350	▲ 2.7	512,960	576,000	101	
富 山	同上（新潟地方気象台 6月11日発表）	185,650	▲ 6,690	▲ 3.5	182,680	193,100	101	
石 川	同上（新潟地方気象台 6月11日発表）	123,630	▲ 2,770	▲ 2.2	121,650	123,400	98	
福 井	同上（新潟地方気象台 6月11日発表）	125,460	▲ 2,670	▲ 2.1	123,460	126,000	98	
長 野	<p>・関東甲信地方の6月13日～7月12日の1か月間は、気温は1週目が平年並か高く、2週目は平年並か低く、平均気温はほぼ平年並となる見込み。降水量は平年並か少なく、日照時間はほぼ平年並の見込み。（気象庁 6月11日発表）</p>	194,000	▲ 2,640	▲ 1.3	190,900	195,800	96	

気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）		t		%	t		
滋賀	・近畿地方の6月13日～7月12日の1か月間の平均気温はほぼ平年並、降水量は日本海側で平年並か少なく、太平洋側ではほぼ平年並、日照時間は日本海側で平年並が多く、太平洋側ではほぼ平年並の見込み。梅雨前線は、2週目に平年より日本の南に予想されるため、日本海側を中心に影響を受けにくく、曇りや雨の日が少ない見込み。 （大阪管区気象台 6月11日発表）	160,450	▲ 2,930	▲ 1.8	157,880	157,100	97
兵庫	同上（大阪管区気象台 6月11日発表）						
岡山	・中国地方の6月13日～7月12日の1か月間の気温は、2週目が平年並か低く、平均気温はほぼ平年並の見込み。降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多い見込み。 （広島地方気象台 6月11日発表）	180,440	▲ 1,490	▲ 0.8	177,560	177,800	97
広島	同上（広島地方気象台 6月11日発表）	158,550	▲ 1,640	▲ 1.0	156,020	153,300	94
山口	・九州北部地方（山口県含む）の6月13日～7月12日の1か月間の気温は、1週目は平年並、2週目は平年並か低く、平均気温はほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。2週目の天候は、平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込み。 （福岡管区気象台 6月11日発表）	129,970	▲ 160	▲ 0.1	127,890	123,300	95
愛媛	・四国地方の6月13日～7月12日の1か月間の気温は、1週目は平年並か高く、2週目は平年並か低く、平均気温はほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 （高松地方気象台 6月11日発表）	108,760	▲ 2,060	▲ 1.9	107,020	103,800	96
高知	同上（高松地方気象台 6月11日発表）	73,920	▲ 570	▲ 0.8	72,740	73,000	98
福岡	・九州北部地方（山口県含む）の6月13日～7月12日の1か月間の気温は、1週目は平年並、2週目は平年並か低く、平均気温はほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。2週目の天候は、平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込み。 （福岡管区気象台 6月11日発表）	50,070	20	0.0	49,270	55,600	95
熊本	同上（福岡管区気象台 6月11日発表）	182,470	▲ 1,910	▲ 1.0	179,550	176,400	96
宮崎	・九州南部地方の6月13日～7月12日の1か月間の平均気温はほぼ平年並、降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （鹿児島地方気象台 6月11日発表）	189,310	▲ 610	▲ 0.3	186,290	180,500	97
鹿児島	同上（鹿児島地方気象台 6月11日発表）	93,600	▲ 870	▲ 0.9	92,100	84,600	98
		111,070	▲ 470	▲ 0.4	109,290	102,300	95

参考資料:

平成27年度米の都道府県別の生産数量目標について(農林水産省)

平成26年度水陸稲の収穫量(農林水産省)

農作物の生育状況 6月1日現在(北海道 6月5日)、農作物生育状況 6月1日現在(北海道空知総合振興局 6月5日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道石狩振興局 6月5日)、農作物の生育状況 6月1日現在(北海道後志総合振興局 6月5日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道胆振総合振興局 6月5日)、農作物の生育状況 6月1日現在(北海道日高振興局 6月5日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道渡島総合振興局 6月5日)、農作物の生育状況 6月1日現在(北海道檜山振興局 6月5日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道上川総合振興局 6月5日)、農作物生育状況調査の概要 6月1日現在(北海道留萌振興局 6月5日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月1日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月5日)、平成27年度定期作況報告(北海道道南農業試験場 5月20日)
病害虫発生予察情報第4号6月予報(北海道病害虫防除所 5月28日)、
作況調査報告(6月10日現在)(青森県産業技術センター農林総合研究所 6月11日)、6月5日現在田植進捗状況(青森県 6月8日)、
平成27年度病害虫発生予報第3号(6月予報)(青森県病害虫防除所 5月29日)、
平成27年度水稲生育定期調査結果No.1-1(6月5日現在)(岩手県農業研究センター 6月8日)、
平成27年度病害虫発生予察情報発生予報第3号(岩手県病害虫防除所 5月29日)、
平成27年度水稲の生育状況について(6月10日現在)(宮城県農林水産部 6月11日)、
平成27年度産南稲作情報(第1号)(宮城県大河原農業改良普及センター 6月5日)、仙台稲作情報第2号(仙台農業改良普及センター 6月4日)
稲作情報Vol.1(石巻農業改良普及センター 6月5日付)、稲作情報Vol.3(本吉農業改良普及センター 6月4日)、
栗原の稲作通信平成27年第1号(栗原農業改良普及センター 6月5日)、登米地域の稲作通信第2号(登米農業改良普及センター 6月2日)
平成27年度産稲作技術情報第3号(宮城県大崎農業改良普及センター 6月1日)、平成27年度産美里地区の稲作情報第2号(宮城県美里農業改良普及センター 6月2日)、
平成27年度発生予察情報発生予報第3号-水稲-(宮城県病害虫防除所 5月22日)、
生育状況の情報(秋田県ホームページにまちチャンネル)http://www.e-komachi.jp/ 6月8日)、
平成27年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第2号(6月予報 5月28日)、注意報第1号(5月21日)(秋田県病害虫防除所)、
米づくり技術情報NO.2(オールやまがた米づくり日本一運動本部 6月10日)、おいしい米づくり情報第5号(村山農業技術普及課 6月11日)、
つや姫通信第1号(本田管理編)(村山総合支庁 6月11日)、
稲作だより第5号本田初期水管理編(山形の米日本一推進運動最上総合支庁 5月28日)、つや姫だより第3号(庄内総合支庁 6月3日)
稲作だより第4号水管理編(村山総合支庁北村山農業技術普及課 6月4日)、酒田・飽海日本一米づくり情報第4報(酒田農業技術普及課 6月2日)
おいしい米づくり情報第3号育苗後編(山形の米日本一推進運動村山地域本部・村山農業技術普及課 4月30日)、
おきたま米づくり情報No.3(置賜総合支庁農業技術普及課西置賜農業技術普及課 5月11日)、
平成27年度農作物有害動物発生予察情報発生予報第3号(6月)(山形県病害虫防除所 5月27日)、
主要な農作物の生育情報平成27年度第3号(福島県農林水産部 6月3日)、稲作情平成27年度第3号(福島県喜多方農業普及所ほか 6月5日)
平成26年度病害虫発生予察情報発生予報第2号(5月)(福島県病害虫防除所 5月29日)、
農研速報(水稲の生育状況)(6月1日現在、水戸市)(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月3日)、
農研速報(水稲の生育状況)(5月28日現在、龍ヶ崎市)(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月1日)、
病害虫発生予報6月号(茨城県病害虫防除所 6月1日)、
下都賀管内水稲技術資料No.3(下都賀農業振興事務所 6月4日)、平成27年度病害虫発生予察注意報第1号(栃木県農業環境指導センター 6月3日)、
平成27年度スポット情報(埼玉県ホームページ 4月27日)、平成27年度病害虫発生予報第2号(6月予報)(埼玉県病害虫防除所 5月28日)、
水稲の生育状況と当面の対策第1報(千葉県農林水産部 6月3日)、平成27年度病害虫発生予報第3号(千葉県病害虫防除所 6月10日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策第2号(新潟県農林水産部 6月11日)、岩船米生育速報(6月10日現在)(村上農業普及指導センター)、
FAX稲作速報(三条農業普及指導センター 6月10日)、稲作管理情報2(柏崎農業普及指導センター 6月11日)、
新発田地域水稲育成速報No.2(新発田農業普及指導センター 6月10日)、新潟稲作速報No.2(新潟農業普及指導センター 6月10日)、
稲作緊急情報(長岡農業普及指導センター 6月10日)、稲作情報(JA北魚沼・魚沼農業普及指導センター 6月10日付)
稲作情報No.3(南魚沼農業普及指導センター 6月10日付)、稲作技術情報No.3(水稲生育速報No.1)(新潟農業普及指導センター 5月29日)、
水稲生育速報(巻農業普及指導センター 5月28日)、2015「越のかがやき米」技術対策資料No.3(越のかがやき米改良協会 5月28日)、
水稲生育速報(5月28日)(上越農業普及指導センター、上越東農林事務所)、
平成27年度糸魚川売れる米づくり水稲生育情報No.1(糸魚川農業普及指導センター 5月29日)
平成27年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第3号(6月の発生予想)(新潟県病害虫防除所 5月29日)、
TACS情報第2号(富山県農業技術課広域普及指導センター 6月2日)、直播情報第2号(富山県農業技術課広域普及指導センター 6月8日)、
病害虫発生予報第3号(富山県農林水産総合技術センター 6月1日)、
平成27年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-3号)(石川県農林総合研究センター 6月9日)、
病害虫発生予報第2号(石川県農林総合研究センター 5月28日)、
稲作情報No.5(福井県水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月5日)、平成27年度農作物病害虫発生予察予報第4号(福井県農業試験場 5月28日)、
平成27年度作物技術普及情報第7号(長野県松本農業改良普及センター)、病害虫発生予報第2号(長野県病害虫防除所 5月16日)
平成27年度水稲生育診断情報No.1(滋賀県農業技術振興センター 6月5日)、平成27年度病害虫発生予報第4号(滋賀県病害虫防除所 6月9日)、
平成27年度病害虫発生予察予報第2号(兵庫県病害虫防除所 6月8日)、平成27年度兵庫県農業気象技術情報第2号(6月情報)について(兵庫県農政環境部 5月28日)、
平成27年度病害虫発生予報第3号(岡山県病害虫防除所 6月2日)、
稲作ワンポイントアドバイス(No. 1)(JA 長門大津・長門農林事務所 6月1日)、農作物病害虫発生予報6月(山口県病害虫防除所 6月2日)、
気象情報に基づく技術対策・作物(愛媛県農林水産研究所 6月3日)、病害虫発生予報(6月)(愛媛県病害虫防除所 5月28日)、
平成27年度における早期水稲の生育状況(5月29日時点)(高知県農業技術センター)、平成27年度水稲の生育状況(幡多農業振興センター 5月28日)、
平成27年度病害虫発生予察予報第2号(5月)・平成27年度病害虫発生予察予報第3号(6月)・(高知県病害虫防除所)、
福岡県の主な農作物の生産状況(福岡県農林業総合試験場 5月15日)、平成27年度病害虫発生予報第3号(6月予報)(熊本県病害虫防除所 6月1日)、
平成27年度産宮崎県早期米産地情報(平成27年4月20日現在)・平成27年度産早期米生育状況(宮崎経済連ホームページhttp://www.miyazaki-cha.jp/kome/index.html 5月12日)
平成27年度病害虫発生予報第1号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 4月28日)、平成27年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 6月3日)、
平成27年度技術情報第5号(鹿児島県病害虫防除所 6月4日)

北海道地方こう1か月の天候の見通し(札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(広島地方気象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(福岡管区気象台)、九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(鹿児島地方